

# 田辺かずき 県政報告

福岡発! ただいま  
政治刷新中!

第52号  
2018年9月発行

<田辺かずき事務所>  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@  
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります!】  
■難病患者の医療助成  
■中小企業支援を要請

## 古賀・筵内の消防車を海外へ 谷山に続き、地域防災力を強化

国境を越えた人的・経済的・文化的なネットワークが拡大する現代、私たちの暮らしに「多文化共生」を根付かせていくことは、県や市町村の重要な責務といえます。地方自治を推進するうえで、避けて通ることはできないテーマです。2019年には福岡県も試合会場となるラグビー・ワールドカップ、2020年



タイ南部ナコンシータマラート市に贈られた古賀市消防団の車両=8月7日

には東京オリンピック・パラリンピックという大規模国際大会が開催されるため、住民の皆さんとともに積極的に取り組んでいくことが求められます。

福岡県議会タイ友好議員連盟の事務局長として、8月にタイを訪問しました。県議会の議員外交の成果として、今年中に国内2カ所目となるタイの総領事館が福岡市内に開設されることになり、日タイ両国間のさらなる交流促進が見込まれています。

今回、タイ南部の地方都市・ナコンシータマラート市を訪問し、古賀市消防団第1分団(筵内区)と那珂川町の車両の計2台の消防車を贈りま

した。消防車として「第二の人生」をスタートし、現地の地域防災力の強化に役立っていきます。なお、古賀市の消防車がタイに贈られるのは、バンコク都で既に活躍している第17分団(谷山区)のものに続き、2台目となります。

福岡県議会はバンコク都議会との友好提携に基づき、この11年、交流しています。その一環として、バンコク都の「地域防災力を高めたい」という要請を受け、県内市町村に協力を求め、使われなくなった消防車を贈る取り組みを進めています。これまでバンコク都には第17分団の車両を含む10台の消防車を寄贈し、現地の防火活動に役立っています。

そして、こうした交流の輪は、バンコク都にとどまらず、タイ国内の他の都市にも広がっています。それが、ナコンシータマラート市です。今回の2台の贈呈式には、ナコンシータマラート市のある県知事も出席されました。そして、この場で、新たに八女市の消防車1台と飯塚市のごみ収集のパッカー車2台の計3台を同県に贈る調印式も行いました。



消防車などを贈ったナコンシータマラート県知事と

ナコンシータマラート市とは、福岡県の私立柳川高校が附属タイ中学校を2016年、現地に開校したことをきっかけに交流が深まっています。柳川高校は、附属タイ中学校の現地の生徒さんたちにも柳川高校に進学してもらおうことで、国際交流や多文化共生を促進する考えで、こうした手法は

全国的にも先駆的な取り組みと言え、福岡県議会としてもバックアップをしています。今回、附属タイ中学校もあらためて訪問し、未来の福岡とタイの懸け橋となる子どもたちと交流させていただきました。

## 田辺の政治活動を 連日発信中!

- ブログ
- ホームページ
- facebook
- Twitter

http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/  
 http://www.tanabe-kazuki.jp/  
 http://www.facebook.com/kazuki.tanabe  
 アカウント→@tanabe\_kazuki

田辺かずき で 検索

# 「軽症」難病患者への医療費助成 — 特例の周知徹底を要請

議会における問題提起とメディアの報道が相乗効果を発揮することがあります。毎日新聞の報道により、難病患者の方々への医療費助成制度が今年から変更となり、助成対象から外れた「軽症」の患者さんの規模が十数万人に上るとみられることが明らかになりました。

そして、今回の制度変更があっても、医療費が高額となる場合は軽症者も特例として助成対象となるのに、この周知が患者本人や医療機関に浸透していないことも分かりました。このことについては、福岡県議会の厚生労働環境委員会でも、同じ会派の岩元一儀議員（北九州市八幡西区）が指摘し、県は軽症者の特例について当事者が認識しやすいよう周知の際に明確化する方針を示しました。医療機関に対しても周知を徹底する考えです。

また、県によると、制度変更前に助成を受け、経過措置として3年間は病状の軽重に関わらず助成を受けてきた経過措置対象者2万9975人のうち、8・2%に当たる2448人が不認定となっていたことが判明。軽症者特例は3384人（11・3%）でした。この数字が判明したベースは毎日新聞の調査報道にあります。

さらに、この制度変更の問題は、軽症者が助成対象から原則外れることで、行政が軽症者の実態をつかめなくなり、疾患の全体像が分からなくなる点にあります。そして、軽症者が重症化した際の迅速な対応にも影響します。この点、私から福岡県行政に指摘し、課題を共有しました。

なお、今回の記事は、私が2003年に毎日新聞に入社した際の同期である横田愛記者の特報。こうした優秀な仲間の頑張りに私も励まされます。

## 古賀市内各地で 対話集会を開催中！

8月の対話集会は舞の里2区集会所で開催しました。まず、私から西日本豪雨の被災地支援活動や知事への要請活動を報告。議会提案の成果である県立特別支援学校における医療的ケア体制の強化、東京五輪に向けたルーミア柔道のキャンプ誘致活動やタイ王国総領事館の福岡設置などの活動を通じて国際交流や多文化共生の重要性についても説明しました。



## 中小企業支援による 産業振興を一知事訪問

福岡県は中小企業支援にも力を入れています。このほど、古賀市商工会さんからご提案をいただき、藤本芳博会長や商工振興委員の皆さんと一緒に小川洋知事を表敬訪問しました。知事からは県の産業振興や国際交流などを説明してもらいました。昨年、県庁11階の物産観光展示室「福岡よかもんひろば」に出展した企業さんも紹介し、全国屈指の板金加工技術を持つナダゴシの植木剛彦社長からは知事の肖像を贈呈。私自身も地元の産業振興に向けた決意を新たにしました。あわせて、県議会議棟も見学。多くの皆さんに地方自治に関心を持っていただくため、こうした機会を大切にしていきたいと思っています。



小川洋知事（右）から県の産業振興などについて熱心に説明を受ける＝県庁で

さらに、高齢者ら避難行動要支援者の避難支援をはじめ地域防災の具体的な実効性確保、中小企業・小規模事業者の皆さんの人手不足の問題や行政からの補助金の要件設定のあり方などについて意見交換。ご参加いただいた皆さんに感謝します！

## 恒久平和へ決意 — 県戦没者追悼式

8月15日、終戦の日。平成最後となる福岡県戦没者追悼式が福岡武道館で開催されました。私も県議として参列しました。正午、黙祷。戦没者の皆様、戦災死没者の皆様、全ての先人の皆様に感謝し、御霊の安らかならんとことを祈り、哀悼の誠を捧げました。そして、不戦を誓い、恒久平和への決意を新たにしました。

政治の究極目標は世界平和です。戦後73年。先の大戦の記憶を風化させないため、戦争を体験していない私たちの世代は、体験者の方々から話を聞かせていただくことで「追体験」し、子どもたちや孫たちに戦争の悲惨さと平和の尊さをつないでいかなければなりません。

日本武道館で開かれた全国戦没者追悼式で、天皇陛下は「戦後の長きにわたる平和な歲月に思いを致し、ここに過去を顧み、深い反省とともに、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願ひ、全国民と共に、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に

対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」と述べられました。

福岡県の追悼式では、福岡県遺族連合会（古賀誠会長）から、天皇陛下に靖国神社を参拝していただける環境を整えたいという思いがあらためて示されました。母校・福岡高校の大先輩で、2年前に亡くなられた新宮松比古・元県議会議長（県遺族会連合会会長代行、元自民党県連会長）と二人でお話した際、天皇陛下ご参拝への思いを聞かせていただいたことを思い出しました。これからも多くの戦争体験を継承し、皆様とともに、平和で安定した国家、地域社会を築いていきます。



## 田辺かずき事務所からのお知らせ

### 【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などに足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所（092-692-8510）まで。

### 【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書（1～2カ月に1回のペースで発行）で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所（092-692-8510）までご連絡ください。

## <田辺かずき プロフィール>



- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業（高51回）
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社、福岡支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員会（～13年）
- 国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
- 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）

- 【所属】 福岡県議会・農林水産委員会
- 同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
- 同・タイ友好議員連盟事務局長
- 同・スポーツ議員連盟幹事
- 国民民主党全国青年委員長
- 国民民主党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
- 福中・福高同窓会顧問
- 古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】 会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女
- 古賀東小学校PTCA前会長（PTCA=P.T.A+地域のC）